

## 子どもが、地域の大人と顔見知りになる機会をつくる

那覇市国場児童館 館長 山崎 新 氏



由に絵を描ける場をつくりたい!」という若手イラストレーターさんと一緒に、お絵描きタイムを設けたりと、外部の方による体験の場があります。また、近隣の沖縄大学にも定期的に福祉の講義にお邪魔しボランティアを呼び掛け、大学生にも足を運んでもらう様になっています。

また、課題を抱えた子どもや家庭の対応のため、近隣のコンビニエンスストアとも情報交換をしていますが、色々お話をするうちに、「子どものために何かやりたい!」という提案をいただいたので、昨年は、ハロウィンに子ども達を連れて近隣事業所を回る、道じゅねーを行いました。ファミリーマートさんの呼びかけで、7か所の事業所が協力していただきましたが、実施後に「子どもが学校帰りに挨拶してくれた。」と喜ぶ事業所さんや、「お年寄り子ども達との交流をもっとしたい。」と考えた介護施設が、こどもの日に手作りお菓子を持って児童館を訪ねてきてくれました。介護施設とは、その後も敬老会に児童館で活動するエイサーや、ダンスチームを招いていただき、中学生のボランティアの機会にもなりました。

子どもが困った時に助けを求めるには、地域の大人と顔見知りになっておく必要があります。また、地域に多様な大人がいる、多様な人生があることに気づくためにも、人と出会い、関わる機会が大切です。そんな場づくりを、楽しみながら行っています。

児童館は、0歳から18歳までの子どもが、遊びをとおして様々な感動・喜びの経験を積み重ね、人間関係づくりなど社会を学んでいく場で、無料で利用することができます。私は、子ども達が豊かな日常を過ごし、故郷での思い出をたくさん持って育て欲しいと考え、一般社団法人沖縄じんぶん考房を立ち上げ、那覇市国場児童館の指定管理者募集に応募し、2013年から運営を始めました。

児童館では、児童館内の行事のほか、国場川このぼりまつりなどの地域の催しや、仲井真小学校区まちづくり協議会の活動にも参加してきました。その中で、例えば地域のクリーンアップやおまつりのなかで児童館職員が地域の人と関わっていると、子ども達は職員と地域の人との関係性を見ていることに気づきました。学校や家庭では、「知らない人に話しかけられても答えない」と教えられていますが、児童館職員と地域の人との関係性を見て、「この人は〇〇先生を知っている人」と理解し、挨拶されたら返せるようになります。私たちが地域の人と関わることで、子どもと地域の人との接点を結びきっかけになることがわかりました。

現在、国場児童館では、「子ども達に囲碁を教えたい!」という地域の方がいたので、囲碁教室を開設したり、おもちゃ作りが得意な民生委員さんを招いて手作りおもちゃ遊びの時間を設けたり、「子ども達が自



民生委員さんと工作



こどもの日お年寄りとの交流



ハロウィン



こどもの日



お絵描き

# なは地域貢献便り12月

「なは地域貢献便り」は、那覇市内の社会福祉法人等施設が、地域の応援団として取り組む情報誌です。

## 令和5年度 第1回 四地区合同 那覇市社会福祉法人等施設連絡協議会の報告

本事業は、令和2年度から令和4年度までの3年間の事業でしたが、特段にて、令和5年度まで1年延長が認められました。その後、連絡協議会を開催し令和5年度及び今後の取組について話し合い、下記の協議内容が可決されました。



首里地区

本庁地区

真和志地区

小禄地区

### 連絡協議会で決まったこと (法人参加18箇所・10箇所の法人は委任状提出)

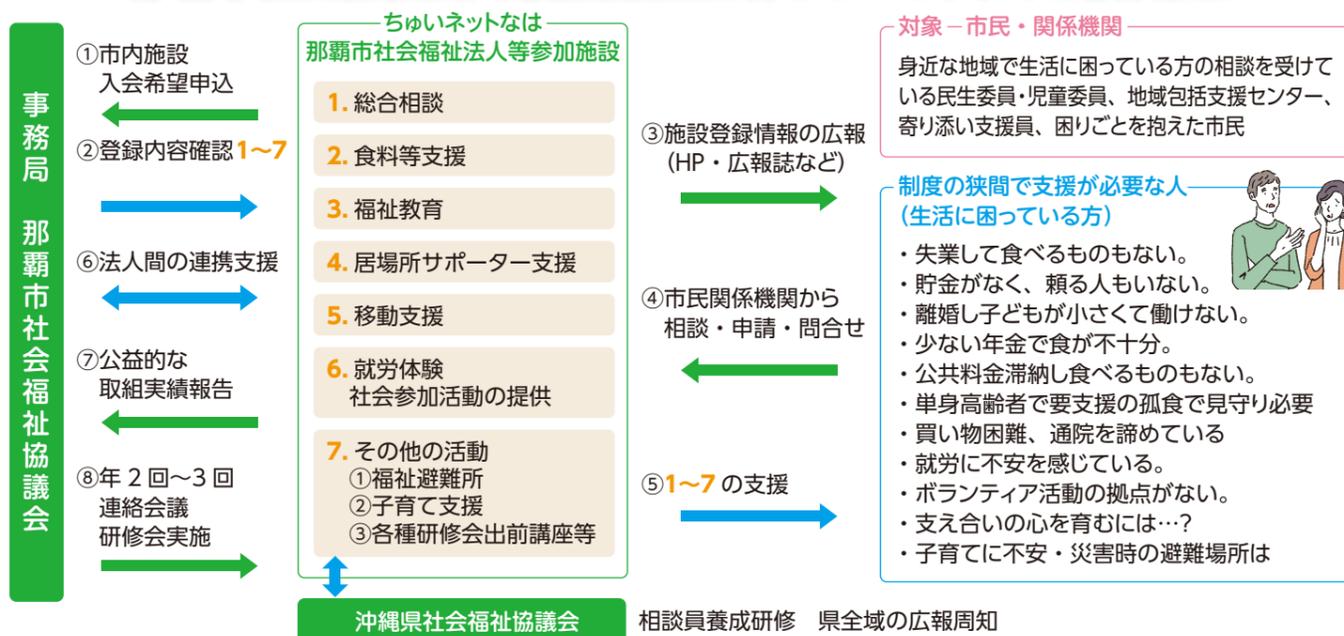
1. 7つの活動分野の推進とフードドライブ運動の継続実施 承認
2. 生活困窮世帯応援事業 チャリティボウリング大会の実施 承認
3. チャリティボウリング実行委員長の選任 社会福祉法人ゆうなの会理事長 玉城篤子氏が選任

◎意見交換会では、4地区に分かれて、テーマ「各行政区毎の複数法人で連携しての地域貢献活動」について、活発な意見が交わされた。



行政区によって高齢化率や交通インフラ等の地域生活課題が異なる。本年度は、行政区ごとに法人間の連携・協働を深め、より身近なところで地域生活課題に対応できるよう具体的な協働実践の方策について検討を行います。これまでの連絡協議会でのニーズを元に、参画法人に対するアンケート調査結果を踏まえ、7つの活動分野(①総合相談②食料等支援③福祉教育④居場所・サポーター支援⑤移動支援⑥就労体験・社会参加活動の提供⑦その他地域関係機関との連携)の活動を拡げていきたいと思います。

## 那覇市社会福祉法人等施設連絡会「ちゅいネットなは」体系図



# 生活困窮家庭への食糧寄付緊急募集

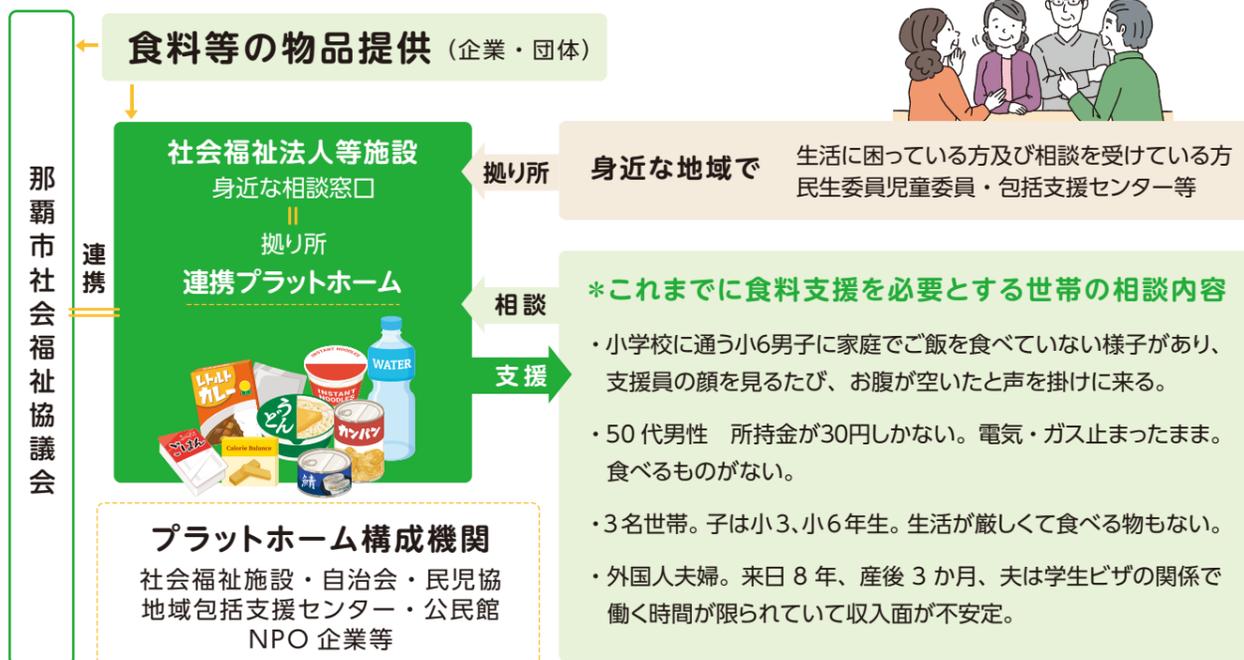
那覇市の社会福祉施設全体の取組目標(5千点)

身近な相談窓口(気軽に立ち寄れる拠り所)と食料支援の一体化

**募集期間** 令和5年(2023年)11月1日(月)～令和6年(2024年)2月29日(木)

**募集内容** 米(可能な限り2020年度以降の米)  
缶詰 レトルト食品 カップ麺 防災品 お菓子  
 ※全て未開封、賞味期限3か月以上あるもの ※特にお米の支援ニーズが多くなっています

**受付場所** 那覇市社会福祉協議会(那覇市総合福祉センター)  
 tel.098-857-7766 担当:山城章



## \*これまでに食料支援を必要とする世帯の相談内容

- ・小学校に通う小6男子に家でご飯を食べていない様子があり、支援員の顔を見るたび、お腹が空いたと声を掛けに来る。
- ・50代男性 所持金が30円しかない。電気・ガス止まったまま。食べるものがない。
- ・3名世帯。子は小3、小6年生。生活が厳しくて食べる物もない。
- ・外国人夫婦。来日8年、産後3か月、夫は学生ビザの関係で働く時間が限られていて収入面が不安定。

コロナが5類に移行した令和5年度は、あらゆる関係団体からの食糧寄贈が減少しました。一方でコロナ関連の施策の終了に伴い、経済的に再建できていない等の理由から、食料を求める世帯数は、令和4年度に比べて増加傾向にあります。したがって、個人、企業、団体の食料品の寄贈よりも、食料を必要とする世帯への提供数の方が多くなっています。9月以降は、ファミリーマート、郵便局等の提携でアウトリーチを始めて、寄贈の数が上回りました。また、フードドライブの見える化として、ありがとうメッセージを集めています。

引き続き、食料寄付を含め貧困をテーマにした、食料支援、チャリティーボウリングは、相談者の困りごとの解決にも結び付くことに大きな意義があり、社会全体で考えていくことが重要であることから、ちゅいしいじい事業の重点的な取り組みとしました。

	令和4年度(1年間)		令和5年度(4月～10月までの5か月)	
寄贈 受付件数	125件	16,835点	94件	5,666点
食料支援 相談件数	233件	5,222点	183件	4,041点

食料寄付のチラシ、申込書は、別紙に作成していますのでご協力ご活用お願いいたします。

那覇市生活困窮世帯応援事業

# 2023年(令和5年)度 ちゅいネットなは チャリティーボウリング大会開催要項

- 趣旨** コロナ禍が終息に向かう現状においても、経済的な困窮世帯が増加傾向にあります。私たち社会福祉事業に従事する者が、生活困窮世帯への支援活動として、多くの方々がボウリングを楽しみながら、誰しもうれしく生活困窮となりえることへの理解と関心を寄せて頂くことを目的に開催します。
- 主管 共催** 那覇市社会福祉法人等施設連絡協議会チャリティーボウリング実行委員会  
社会福祉法人那覇市社会福祉協議会
- 後援** 沖縄県ボウリング場協会
- 期日** 2023年12月1日(金)～2024年2月29日(木)
- 場所** 沖縄県ボウリング場協会加盟の3会場  
 スカイレーン ☎098-858-1005 那覇市具志 875  
 サラダボウル ☎098-869-0204 那覇市辻 3丁目4-1  
 エナジックボウルサザン ☎098-888-5656 南風原町字宮平 460-1

## 6. 参加方法及び参加料

社会福祉法人那覇市社会福祉協議会の発行する参加券を、社協で購入し、大会期間中の都合の良い日にプレーする。

**参加券は1枚1500円(2ゲームのプレー代金含む)**

\*シューズ代は自己負担(300円)です。

●差引純利益は、生活困窮世帯及び子どもの居場所等の支援に充てられます

- 問い合わせ** 社会福祉法人那覇市社会福祉協議会  
 那覇市金城 3-5-4  
 tel.098-857-7766 Fax.098-857-6052  
 地域福祉課 ちゅいしいじい事業(山城章)



チャリティーボウリングの依頼文書、申込書は、別紙に作成していますのでご協力ご活用お願いいたします。